

School Magazine

木曽青峰高等学校

9月29日
創立十周年記念式典が挙行了されました。

2017年度 Vol. 6

生徒代表挨拶

普通科3年 牧 爽馬（大桑中卒）

10年前、私は小学校二年生でした。毎日のように、学校の中庭で昆虫を捕まえ、友達とおいかっことして遊んでいました。その時は、10年後の自分が、このような場に立って生徒代表として挨拶をしていることなど思いもしていませんでした。

次に、今から10年後の私はどうなっているのでしょうか。あるいは進学し、専門的なことを学び、その知識を生かしてどこかの会社で一生懸命働いているかもしれません。でも、10年前の私が、今の自分を想像できなかったように、未来のことは分かりません。

さて、では青峰にとって、この10年はどうだったのでしょうか。

自分が様々な経験をしてきたように、青峰も様々な移り変わりを経て、今の姿になったのだと思います。

もっと前の歴史を探してみれば、本校は何度かの統合を繰り返し、その時々で大きな葛藤を乗り越えてきたのだと思います。

では10年後、本校はどうなっているのでしょうか。私の未来と同様に、学校の10年後も誰にも分かりません。しかし、今確かに言えることは、自らがたくさんのことを学んだ学校が、10年のみならず、10年を10回繰り返しても、この丘の上にあってほしいということです。

この式典が、10年のひと区切りを祝うことはもちろんですが、同時にそれ以前の歴史を知る機会となり、さらにベクトルを変えて、10年後、さらにはもっと先の未来の姿を考えるきっかけでもあってほしいと思います。

そして、そんな記念すべき節目を、皆さんと共に迎えることができ、在校生の代表としてご挨拶できることを光栄に思っています。その思いをお伝えして、私の挨拶といたします。



「生徒主体の式典」

総合司会 理科3年 中西 恵（福島中卒）

私たち3人は創立十周年記念式典で総合司会を務めさせていただきました。“生徒主体の式典”ということで台本もたたき台として作っていただき、練習の際に修正を入れていくというかたちで完成させました。大変でしたが私達にとってとても良い経験となりました。貴重な機会とたくさんの方の協力をいただき無事終わられました。本当にありがとうございました。



式典の司会も生徒が務めました



照明係も生徒です

書道部 普通科1年 巢山 優菜（檜川中卒）

私は9月上旬ごろに入部しました。書道部は文化祭まで活動がありませんが、今回十周年の依頼をいただけてとても嬉しかったです。私は、今までにこのような体験をしたことがなかったので緊張しました。他の部員もとても緊張していたと思います。完成した時は達成感でいっぱいになりました。また、このような機会があったら、良い字を書きたいです。



式次第や演題も生徒が書きました



吹奏楽部の演奏もありました



お礼のこたば代表 インテリア科3年 奥原 聖也 (木祖中卒)

千葉工大から古田貴之先生が近未来のことについて講話をしに来てくださいました。数年前のロボット実験動画を見せてもらいながら、解説をしていただきました。どれだけ邪魔をされても作業し続けるロボットなど、将来はどうなるんだろうというワクワクがとても膨らみました。これからの古田先生の活躍がどこまで広がるのか注目していきたいです。

講演会：生徒代表によるお礼のこたばの場面

お礼

事務局 高木豊明



本校は平成19年の開校以来10周年を迎え、この度十周年記念式典を無事挙行することができました。これも偏に同窓生、保護者を始めとする地域の方々のご理解とご協力によるものと深く感謝申し上げます。

記念事業は大きく6つの項目で進めて参りました。①記念式典②記念講演③相撲練習場建設④校門周辺整備⑤同窓会館修繕⑥五霊の森整備です。残すところ相撲練習場建設のみとなりました。土地の整備が完了し、2月末竣工を目標に今後進めて参ります。竣工時には土俵開きを予定しております。

さて、記念式典挙行及び記念講演実施に当たりましては、生徒主体で進めて参りました。具体的には、案内状発送を定時制生徒、駐車場誘導を風紀委員生徒、受付校内誘導接待を生徒会総務、式典設営1・2年生、式典全ての司会進行を有志、放送照明は放送委員会、吹奏楽部による演奏、そして記念品作成をインテリア科生徒、学校周辺整備を森林環境科生徒により進め、それぞれの立場で活躍して頂き無事終えることができました。生徒諸君には、主体性をもって行動してくれたことにご来場頂いた方々には実感して頂けたと存じます。この経験は、必ず社会へ出てからの糧になると事務局としても自負しております。生徒諸君の行動に感謝いたしますと同時に今後の人生に期待するものであります。

記念講演はPTA主催で実施いたしました。千葉工業大学ロボット技術研究センター所長古田貴之氏による「ロボット技術と未来社会」をテーマに実施されました。生徒と会話形式で実施され、ご来場頂いた方々全てを引き込みあつという間の60分間でした。私もこういった講演は初めての体験で先生の偉大さを実感いたしました。ただ、ロボットは製作者の意図で人類をも左右すると考えさせられました。

最後になりましたが、皆様方のご理解ご協力で木曾青峰高校10周年を迎えることができました。引続きご支援ご鞭撻を願いますとともに皆様方の益々のご繁栄を祈念申し上げます。お礼の言葉と致します。

10月6日 強歩大会開催

10月6日(金)強歩大会が開催されました。男女ともに学校グラウンドをスタート地点に「駒ノ湯」、「大原グラウンド」、「森のホテル」、「キビオ・カントリー分岐点」、「伊谷集合所」を通過して、学校の正面玄関にゴールする全23kmのコースを快走しました。校庭ではPTAの皆さんが特製「ちゃんこ鍋」を振る舞ってくださり、生徒たちの疲れを癒してくださいました。コース沿いにお住まいの皆さんや、通行された皆さんのご理解とご協力に感謝申し上げます。

男子1位

インテリア科1年 大蔵 泰生 (南木曾中卒)

今回、初めて強歩大会を走り自分自身1位を取れるかわかりませんでした。また23キロという距離を走ったことがなく、ペースもわかりませんでした。アップダウンが激しく後半になるにつれ足が前に進まなくなりました。しかし、なんとか1位でゴールすることができ自分の満足のいく走りができたと感じます。来年は、今年の自分を超えられるような走りをしたいです。



女子1位

普通科2年 下村 あきほ (開田中卒)

今年は昨年に比べ寒い中で強歩大会でした。私は昨年の記録を上回ることを、最後まで気を抜かないことが目標でした。走っている途中所々で先生や地域の方々の「頑張れ!」という言葉に元気をもらい、最後まで精一杯走りきることができました。記録を上回れなかったのは悔しいですが、昨年よりも景色を見たりしながら、楽しく走れたので良かったです。



男子	1位	1年 大蔵 泰生 (南木曾中卒)	2位	2年 草刈 仁貴 (木祖中卒)	3位	2年 鈴木 真弥 (上松中卒)	4位	2年 藤田 健司郎 (福島中卒)	5位	2年 中畑 智也 (福島中卒)
	6位	2年 郷原 勝貴 (南木曾中卒)	7位	1年 和田 直己 (木祖中卒)	8位	1年 中島 健太 (上松中卒)	9位	1年 尾崎 達太 (南木曾中卒)	10位	2年 原 元太 (上松中卒)
女子	1位	2年 下村 あきほ (開田中卒)	2位	1年 高橋 歩華 (木曾町中卒)	3位	2年 宮田 知佳 (福島中卒)	4位	1年 古畑 ひかり (日義中卒)	5位	1年 松原 紅音 (南木曾中)
	6位	2年 橋本 優衣 (上松中卒)	7位	2年 海老澤 華奈 (日義中卒)	8位	2年 古坂 渚 (福島中卒)	9位	2年 栗空 実穂 (大湊中卒)	10位	2年 黒木 杏夏 (福島中卒)



最後は傘が必要なほどの雨が

スクールマガジンを通して本校の様子を中学生及び地域の皆さんに紹介させていただきたいと思っております。

本校ウェブサイトもあわせてご覧いただければ幸いです。

〒397-8571 長野県木曾郡木曾町福島1827-2 木曾青峰高等学校教務室 TEL 0264-22-2315 FAX 0264-21-1056

E-mail seiho@nagano-c.ed.jp

URL <http://www.nagano-c.ed.jp/seiho/>

